

# 五ノ一新聞

05. 11. No.102  
発行 市岡日出夫  
発行所

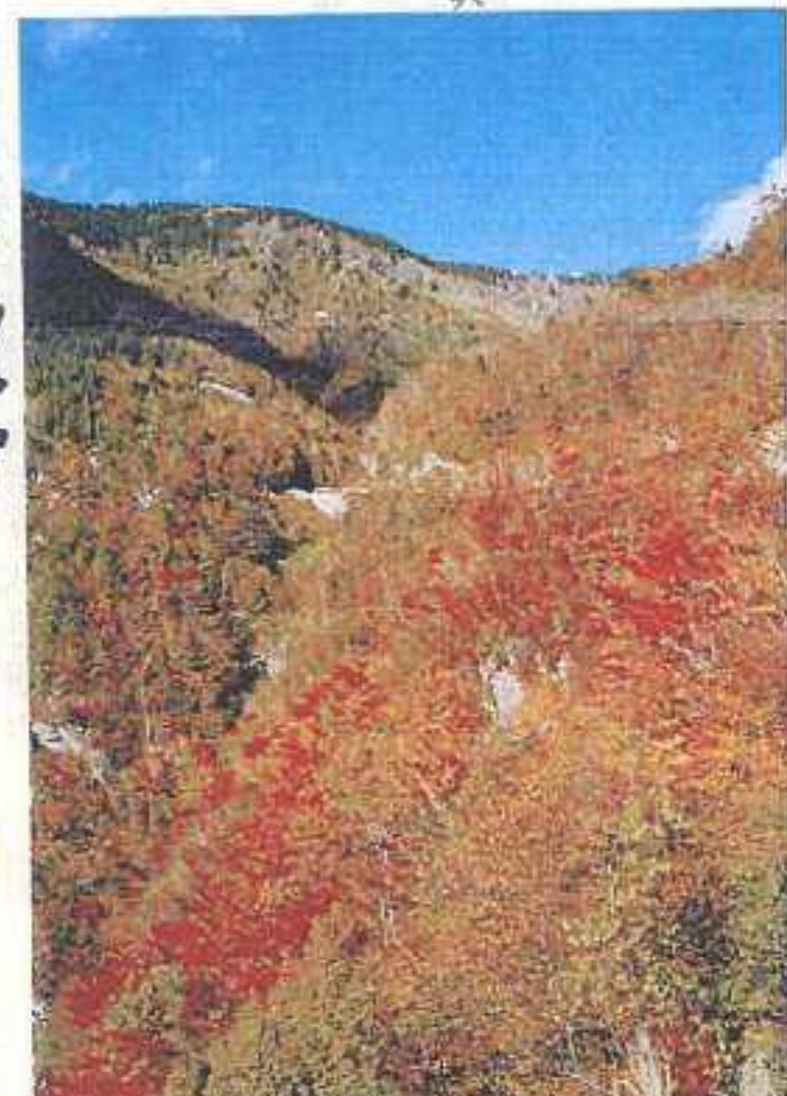
山やズネスライン祖谷ではじまった十月、中旬頃までは、まだまだいよいよ紅葉と感じていると、二十三日にかけて寒くなり、一五〇〇M以上の山嶺では、初冠雪。剣山や三山嶺は、積雪が確認され、いっせいに紅葉が下りてきました。下旬にもなると思われ、見どころは、紅く染まりましたよ。なせか、今午は、紅が多目に焼まつてきました。もう、目を覚ますばかりの美しさ。東祖谷は、一入かにきれいだ。たんじやのしと再認識させられる。

## 伝えんズにきいぞ

十月は、山の案内も数回ありました。天候に恵まれて、遠くの山はみか何重にもみえて語る言葉ほどよい日もあれば、二十三日などは途中、雪がケラケラして降りて、眺めは良くなかったものの、登山道には、あちこちに雪があったり、霧の中の紅葉は幻想的な風景となつて、心を



東祖谷ニ重かぶら橋の紅葉



## 我ズむろ東

ある日は、散策するうちに剣山をゆっくり登り、赤黄に色づく木々をゆっくり堪能。リスに出会ったり、小鳥がすぐ近くまで寄ってくるほど、頂上だけを目差す登山では味わえない一日、こんな時は、自然の中にとけ込めるように感じられる。

ある時は、案内していても登山客の反応がよくて楽しい会話がはずむ。数十分前に知り合ったとはおとえはない程の親近感。少々、天気が悪くとも、楽しい登山を味わえる。何となく、何回案内しても、新しい発見や出会いがあつて、自然を仲介にくわいい経験が出来ると思います。それら、この東祖谷山村という、田舎で、ちよと不便な村だけに、どこか他と違う何かがあるからいかならうか、とあつてきます。また十月は、「平家祭り」の月でもあります。平家の人伝説が数多く伝えられている東祖谷山村の大きなイベントの一つ。子ども武者行列、園遊会、徳利

三嶽登山道の紅葉



を中心にした、きこびやかで行列は村外からも参加者が多い。毎回参加している、祖谷で、何人かいたりして、合併して続けたいか、いければいい、いへ、下のつどいといえます。東祖谷山村の自然が大切な美しい自然、だとすれば、平家祭りや、若草屋根の点検する風景は、人々が受け継ぐべき、大切な東祖谷山村の宝だといえます。どこへも、そこに住んでいる私たちが中心になって、守り伝えていかないと、いかにいかならうか。

## 祖谷